

政策分野4

【環境・自然】

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり

4-1 地球環境の保全に貢献する

(新エネルギー・再生可能エネルギー・低炭素社会・資源循環型社会)

4-2 みどり豊かな自然を守り育む

(農地保全・森林環境・緑化活動)

4-3 水資源と水環境を守る

(水環境)

4-4 住みよい生活環境をつくる

(住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・男女共同参画・人権)

地球環境の保全に貢献する

(新エネルギー・再生可能エネルギー・低炭素社会・資源循環型社会)

基本的な施策の方向性

持続的な発展が可能となる地域社会の構築を目指し、市民一人ひとりが環境負荷の低減と地球環境の保全に貢献する強い意識を持たなくてはなりません。

資源を有効活用する低炭素・資源循環型社会¹の実現を願う先進的な自治体として、新エネルギー²・再生可能エネルギー³の利活用などに向けた取り組みをより一層充実させ、市民一人ひとりの意識高揚につなげます。

施策と内容

1. 新エネルギー・再生可能エネルギーを利活用します

新エネルギーである川根温泉の天然ガスコージェネレーション⁴の導入や、伊太田代地区のメガソーラー発電、小水力発電⁵や田代環境プラザごみ焼熱式発電⁶による再生可能エネルギーを利活用することで、CO₂排出削減に率先して取り組み、環境の保全に努めていきます。

主要な取り組みの事例

- 川根温泉の温室効果ガス⁷削減の取り組みを全国へ発信
- 当市の豊富な資源を活かした新エネルギー導入の調査研究
- 太陽エネルギー利用機器の設置支援
- 公共施設、一般家庭への蓄電システムの構築・導入

めざす値

太陽光補助金申請者の太陽電池設置容量累計

H28(2016)
8.2 MW

H33(2021)
11.8 MW

2. 低炭素社会・資源循環型社会を形成します

市民や事業者が、深刻化する地球温暖化などの地球環境問題を理解し、地球環境保全に向けた取り組みを実践できる社会を目指します。

主要な取り組みの事例

- 国民運動「COOL CHOICE」⁸の周知、啓発
- エコアクション21⁹の認証・登録の継続・拡大
- 田代環境プラザの適正な維持管理と施設の長寿命化
- クリーンセンター設備の更新による、し尿処理能力の強化

めざす値

COOL CHOICE 賛同者数 (累計)

H28(2016)
—

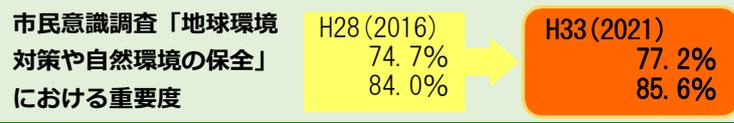
H33(2021)
1,500人

用語解説

- 【低炭素・資源循環型社会】低炭素社会とは、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出を、自然が吸収できる量以内に削減するため、低炭素エネルギーの導入などの環境配慮を徹底する社会。資源循環型社会とは、環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限に抑える社会
- 【新エネルギー】「化石エネルギーのうち、技術的には実用段階であるが経済的な理由から普及が十分に進んでおらず、利用促進を図るべきエネルギー源」として分類されるもので、太陽光発電や風力発電などが新エネルギーにあたる。
- 【再生可能エネルギー】「エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」で、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスがこれにあたる。
- 【ガスコージェネレーション】環境負荷の少ない天然ガス等を燃料に用いて、必要な場所で電気をつくり、同時に発生する廃熱を蒸気・給湯・暖房・冷房などに有効利用するシステム
- 【小水力発電】中小河川や農業用水路、上下水道施設などの既設の水路における水流の勢いや落差を利用して発電する小規模な水力発電

政策分野4 環境・自然

この柱のみんでめざそう値



▲田代環境プラザ

3. 資源の有効活用を推進します

持続可能な地域社会の実現のため、限りある資源を有効活用し、資源循環型社会の形成を目指します。

主要な取り組みの事例

- ごみの発生を抑制するマイグッツ運動の推進
- 「生活用品活用バンク」の利用促進
- ごみの再資源化への市民意識の向上

めざそう値



4. 環境教育・学習を推進します

人と環境にやさしい持続可能な社会の構築を目指し、市民や企業・事業者、市民団体との連携のとれた諸施策を推進するため、環境教育・学習の機会を拡大します。

主要な取り組みの事例

- 子どもをリーダーとする「アース・キッズ事業」の推進
- 出前講座等の実施を通じた、環境問題に対する市民一人ひとりの意識向上

めざそう値



用語解説

- 6 【ごみ廃熱式発電】木質資源、下水汚泥、家畜糞尿、食物残渣等の動植物から生まれた再生可能な有機性資源を、燃焼し、発生する熱エネルギーやガスを利用しての発電
- 7 【温室効果ガス】温室効果ガスは社会経済活動により生まれたもの、主に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等がこれにあたる。
- 8 【国民運動「COOL CHOICE」】2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動
- 9 【エコアクション21】環境への取り組みを適切に実施し、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持するとともに、環境コミュニケーションを行っている事業者を、認証登録する制度

関連データ

■資源類収集実績

単位：t

年度	H24	H25	H26	H27	H28
カレット	732	702	720	712	666
古紙類（集団回収除く）	1,684	1,434	1,152	905	768
その他	620	593	634	599	622

※カレット：ガラス瓶を破砕して球状の粒にしたもの。

※その他：古布類（H26～）、ペットボトル、キャップ、トレイ、紙パック、ガラス陶磁器、食用油、乾電池、蛍光灯

■田代環境プラザ・ソーラーパークしまだ見学者数

単位：人

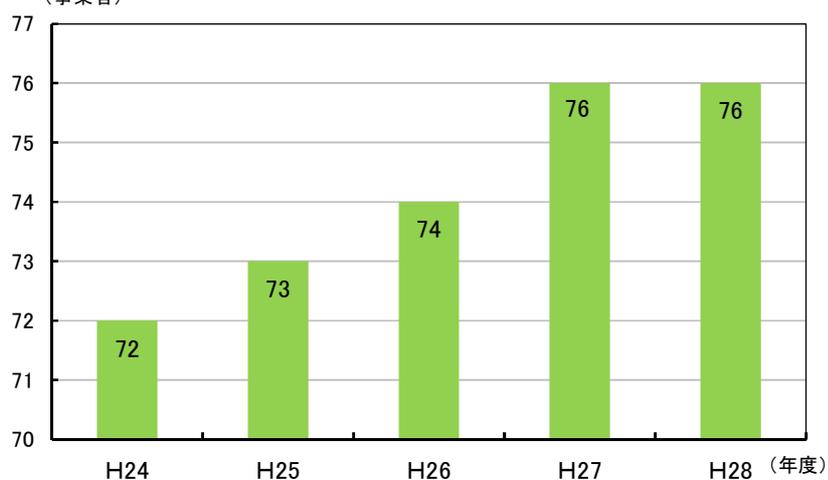
年度	H24	H25	H26	H27	H28
田代環境プラザ	1,630	1,169	1,155	1,127	1,255
ソーラーパークしまだ	-	76	85	0	175
合計	1,630	1,245	1,240	1,127	1,430

※田代環境プラザ（H18.4～稼働開始）

※ソーラーパークしまだ（H26.1～運営開始）

■エコアクション21登録事業者数（累計）

（事業者）



■アース・キッズ事業 参加校数・参加児童数

年度	H24	H25	H26	H27	H28
参加校数（校）	7	8	9	8	11
参加児童数（人）	259	385	427	395	533



▲アース・キッズ事業（自転車発電体験）

みどり豊かな自然を守り育む (農地保全・森林環境・緑化活動)

基本的な施策の方向性

私たちの自慢である「山のみどり」「お茶のみどり」「まちのみどり」が映える空間を大切にしていきます。

特に、地球温暖化を防ぐ二酸化炭素を吸収する役割に加え、災害を防ぐ公益的な機能を保有している森林を、未来に引き継ぐ大切な財産として守り続けていきます。

施策と内容

1. 森林環境の保全を図ります

森林環境の保全を図るとともに、森林環境を守り続けていくための意識の啓発活動に努めます。

主要な取り組みの事例

- 緑の大切さや木材資源を大切にする意識高揚
- 伊太田代地区とその近隣における希少動植物の監視と保護
- 企業との環境保全協定¹締結機会の増加

めざす値

伊太田代地区とその近隣における
猛禽類²の生息・繁殖活動件数

H28(2016)
2件

H33(2021)
3件

2. 農地や森林が持つ公益的機能の維持・回復を図ります

農地や森林が持つ水源涵³よう³や地球温暖化防止などの公益的機能の維持・回復を図るため、農林地の適切な保全管理を行うとともに、荒廃農地、荒廃森林の再生や管理指導及び間伐などの森林施業を促進します。

主要な取り組みの事例

- 農業振興地域整備計画に基づく農地の保全
- 島田市森林整備計画に基づく計画的な森林の保全と整備
- 荒廃農地の発生抑制と解消、中山間地に至っては地域の実情に応じた対策の検討

めざす値

荒廃農地面積

H28(2016)
33.5ha

H33(2021)
30.0ha

用語解説

- 【環境保全協定】環境保全の1つの手段として、地方公共団体または住民と企業との間で締結される協定を指す。これらの協定は法令の規定基準を補完し、地域に応じた環境保全の目標値の設定、具体的な対策の明示などを内容とし、法律や条例の規定と並ぶ有力な環境保全対策の手段として広く利用されている。
- 【猛禽類】タカ目とフクロウ目の鳥の総称。ワシ・タカ・トビ・フクロウなどがこれにあたる。
- 【水源涵³よう³】森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させること

政策分野4 環境・自然

この柱のみんなめでさそう値

森林整備面積（年間）

H28(2016)
252.82ha

H33(2021)
305.0ha



▲ドウダンツツジ

3. まちの緑化を推進します

みどり豊かなまちづくりを推進するため、「島田市緑茶化計画」を踏まえた緑化運動の支援や啓発活動に努めます。

主要な取り組みの事例

- 市民や事業者が行う生け垣づくりの支援
- 花と緑で彩られた都市空間を創出する市民の自発的な活動の支援

めでさそう値

生け垣づくり補助累計件数

H28(2016)
1,131件

H33(2021)
1,186件



▲花の会（緑化団体）の活動

■緑化団体一覧（会員数は平成29年3月現在）

団体名	会員数（人）	設立年月日
島田市花の会	105	昭和32年4月1日
谷口美里会	16	平成8年8月4日
金谷牛尾花の会	12	平成17年9月1日
横岡花の会	10	平成17年4月1日
野の花の会	13	平成20年5月13日
花ともだち	14	平成20年4月1日

基本的な施策の方向性

市民生活、産業活動等にとって欠くことのできない水資源について、水質の保全はもとより安定的な水量の確保を目指し、当市の恵まれた水環境を財産として次世代に引き継ぎます。

施策と内容

1. リニア中央新幹線整備工事の対策に取り組みます

リニア中央新幹線整備計画における南アルプストンネル等の施工に伴い、大井川流域の流量減少が懸念されることから、工事着工前の流量が全量確保されるよう事業者（JR東海）にその対策を強く求めます。

主要な取り組みの事例

- 事業が環境に与える影響を継続的に確認するとともに、環境保全措置¹についての助言等を通じた影響の低減
- 工事着工前流量の全量確保に向け、大井川下流域の利水者 11 者と連携を密にした事業者（JR東海）への働きかけの継続
- 大井川水系の水利に関する調整及び協議

めざす値

大井川の水環境に対する市民の関心度



2. 水資源を保全します

水資源は市民生活全般のみならず、産業活動等にとっても重要な資源であり、水質の保全及び水量の確保を将来的に維持していきます。

主要な取り組みの事例

- 各家庭及び事業者に対する生活雑排水対策に関する指導・啓発
- 公共下水道普及率の向上と生活環境の改善

めざす値

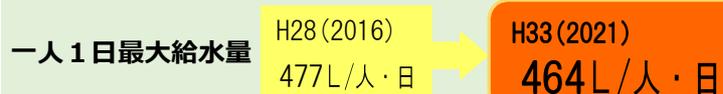
汚水処理人口普及率



用語解説

¹【環境保全措置】環境影響評価の結果をその事業に係る環境の保全のための措置、その他のその事業の内容に関する決定に反映させるための措置をとることなどにより、その事業に係る環境の保全について適正な配慮がなされることを確保すること

この柱のみんなでめざそう値



政策分野4 環境・自然



▲童子沢親水公園

3. 水環境を守ります

豊かな自然環境に由来する水環境を市民共通の財産として守り、次世代に引き継いでいきます。

主要な取り組みの事例

- 水の大切さを伝える啓発活動を通じた大井川の水環境を守り続ける意識の高揚
- 市内一斉環境美化活動（川ざらい）の実施による生活環境の保全及び公衆衛生の向上
- 自然環境と開発が併存する田代の郷整備事業地内における生物多様性の保全

めざそう値

市内河川調査における環境基準達成率



関連データ

■公共下水道の整備状況

年度	供用面積(ha)	供用開始 区域内人口(人)	人口(市全体) (人)	普及率(%)
H24	193.06	10,420	101,693	10.2
H25	199.17	10,381	101,159	10.3
H26	205.33	10,564	100,646	10.5
H27	207.47	10,650	100,127	10.6
H28	209.91	10,652	99,761	10.7

※各年度末現在

住みよい生活環境をつくる

(住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・男女共同参画・人権)

基本的な施策の方向性

快適な居住環境の整備や公共交通手段の確保・維持を図るとともに、交通事故や犯罪のないまちづくりを進め、地域住民の住みやすさを向上していきます。

また、市民一人ひとりが互いに人権を尊重しあうことを基本に、性別、年齢、国籍などにかかわらず、誰もが平等に活躍できる社会環境づくりを進めます。

施策と内容

1. 快適な居住環境の確保、安定した市営住宅の供給に努めます

全国的な傾向と同様、民間住宅の新築件数が増える一方で、市内でも空き家が目立ちはじめています。その活用あるいは撤去方法について、柔軟ですばやく対応できるシステムの確立を図ります。

公共が担う住宅政策として、「市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の供給による快適な住環境の確保と長期的な活用を図り、適切に維持管理していきます。

主要な取り組みの事例

- 特定空き家¹の発生抑制と一般空き家の流通促進
- 大井川川越遺跡周辺地区、新東名島田金谷インターチェンジ周辺地区について、住環境とのバランスが取れた地区計画²指定の推進
- 川根身成地区への生活道路・排水路整備による宅地開発の促進
- 市営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の長寿命化と計画の見直し

めやす値

耐用年数が経過した住宅の残戸数
(市営住宅)

H28(2016)
110戸

H33(2021)
81戸

2. 防犯活動を推進します

犯罪のない社会を目指し、市民一人ひとりの防犯意識を高め、市民・地域・関係機関が一体となった安全・安心な地域づくりを進めます。

主要な取り組みの事例

- 関連団体との連携を密にした防犯対策啓発活動の強化
- 犯罪情報の周知拡大に向けた情報提供
- 地域が主体的に行う子どもの見守り活動の支援

めやす値

年間犯罪発生件数
(刑法犯認知件数)

H28(2016)
441件

H33(2021)
400件

用語解説

- 【特定空き家】周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家のこと。そのまま放置すると著しく保安上危険または衛生上有害となる状態、適切に管理されていないため著しく景観を損なっている状態にあると認められる空き家のこと
- 【地区計画】一定のまとまりを持った「地区」の用途地域の規制を強化、緩和することを目的に、その地区の実情に合ったよりきめ細かい規制を行う都市計画法に基づく制度

この柱のみんなだめぞそう値

住みごこちがよいと
感じる市民の割合



政策分野4 環境・自然



▲ワゴン車コミュニティバス

3. 公共交通の維持・確保に努めます

公共交通は、通学や通勤、通院時の移動手段として重要な役割を担っています。さらに、食料品や日用品を購入するための手段として、そして、自家用車の運転に不安を抱える高齢者の移動手段として、公共交通の重要性が一層増してきています。

広大な市域を持つ本市が、各地域での市民生活を維持し、地域間のネットワークを構築していくため、自治会やNPO団体、福祉をはじめ市関係部署等の連携による、効果的で持続性の高い公共交通体系を構築していきます。

主要な取り組みの事例

- コミュニティバスの運行の維持と地域の自主的な交通手段の構築による交通空白地域³の解消
- 公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築
- バスの利用実態や自主的な地域交通手段の構築に関する講座の開催を通じた、市民の公共交通に対する理解の深化

めざす
値

コミュニティバス利用者数



めざす
値

地域公共交通 人口カバー率



めざす
値

地域公共交通 エリアカバー率



4. 交通安全対策を推進し、安全な地域づくりを進めます

市民一人ひとりの交通安全意識を高めるとともに、交通安全施設等の整備を進め、交通事故のない安全な地域づくりを進めます。

主要な取り組みの事例

- 交通安全運動の推進と交通安全意識の向上
- 交通安全施設（道路照明灯・道路反射鏡・道路標識・ガードレール等）の設置と維持管理
- 生活道路における危険箇所の解消
- 高齢者の運転免許証自主返納のサポート

めざす
値

交通事故（人身事故）発生件数



用語解説

3【交通空白地域】路線バス等が運行していない地域、既存バス停から離れている地域、鉄道駅から離れている地域の全てに該当する地域

施策と内容

5. 消費生活対策を推進します

市民一人ひとりが消費者として、自らの利益擁護のため自主的かつ合理的に行動できる社会を目指し、消費生活の安定と向上を図ります。

特に近年、未成年者や高齢者、障害のある人等の社会的弱者が被害に遭いトラブルに発展するケースが増大していることから、それらの未然防止を重点に対策を進めていきます。

主要な取り組みの事例

- 啓発活動強化による高齢者に対する悪質商法等の被害の未然防止
- 迷惑電話防止装置の設置促進
- 悪質商法等の最新情報の積極的な収集による相談対応力の強化

めざす価値

電話勧誘に起因する消費生活相談件数

H28(2016) 133件 → H33(2021) 100件

6. 男女共同参画社会の実現を目指します

男女が互いに尊重しあい、性別にかかわらず誰もが個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合う社会づくりを目指します。

主要な取り組みの事例

- 第3次島田市男女共同参画行動計画による男女共同参画社会の実現に向けた施策の展開
- ワーク・ライフ・バランス⁴の推進

めざす価値

女性の社会進出を後押しする動きが広がることについての市民意識

H28(2016) 81.2% → H33(2021) 85.0%
88.5% → 90.7%

7. 人権が尊重される社会の実現を目指します

すべての人の人権が尊重され、誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりを目指します。

主要な取り組みの事例

- 人権教育、人権の啓発活動の充実
- 人権擁護委員⁵による人権相談の実施
- 関係機関と連携した、虐待や家庭内暴力の早期発見・予防

めざす価値

人権啓発事業への年間参加者数

H28(2016) 461人 → H33(2021) 500人

関連データ

■市民相談・定例市民相談・特設市民相談 受付件数

(件)

年度	行政相談	民事・家事相談	交通事故相談	消費生活相談	合計
H24	40	845	41	559	1,485
H25	37	894	43	625	1,599
H26	45	874	40	614	1,573
H27	21	791	35	631	1,478
H28	18	771	43	536	1,368

用語解説

4【ワーク・ライフ・バランス】仕事と生活の調和ともいう。国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること

5【人権擁護委員】人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティア

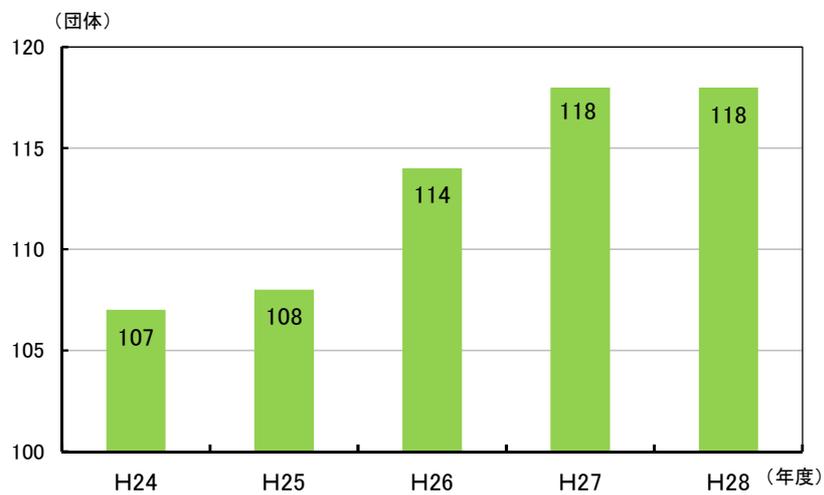


▲交通安全街頭広報



▲女性議会

■男女共同参画づくり宣言書・団体数の推移（累計）





▲コミュニティバス

政策分野5

【歴史・文化・地域】

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり

5-1 培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める
(歴史・文化)

5-2 島田を知り、好きになってもらう
(情報発信・シティプロモーション)

5-3 人との連携・交流が生まれる地域をつくる
(移住・国際交流・多世代交流)

培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）

基本的な施策の方向性

地域で育まれた歴史や文化、そして、そこに住む人が生み出す芸術は、私たちの想像力や表現力を高め、日常生活に潤いを与えます。そこから人と人との交流が広がり、活力ある地域社会の実現にもつながっていきます。

様々なイベントを通じて、歴史・文化芸術は、教育、福祉、観光・産業、まちづくりといった多様な分野との関わりが見られるようになっていきます。市民、行政、議会の協働のもと、豊かな自然や、先人たちから受け継がれてきた文化、そして、今を生きる私たちが創造する新しい文化をまちづくりに活用し、次の世代へとつなげていきます。

施策と内容

1. 歴史資源を守り、活用を進めます

当市固有の財産である文化財をしっかりと保全・継承していきます。

大井川川越遺跡、諏訪原城跡、蓬莱橋といった由緒ある文化財を活かした魅力あふれるまちづくりを進め、国内外の人々に当市の歴史を情報発信していきます。

主要な取り組みの事例

- 大井川川越遺跡の保存管理と観光資源としての活用
- 諏訪原城跡の復元・保存整備と見学者の利便性向上につながる整備の推進
- 蓬莱橋周辺の施設や周辺の道水路整備
- （仮称）歴史文化基本構想の策定

めざす値

市民意識調査「歴史を生かしたまちづくり」における市民満足度



2. 歴史に触れる機会を創出します

歴史・文化を伝えていく重要な役割を担う博物館をはじめ、当市の歴史を学ぶ「場づくり」、「機会づくり」を充実させ、地域への愛着を醸成します。

主要な取り組みの事例

- 学校、自治会、市民活動団体等と連携した出前講座や体験学習の実施
- 博物館の常設展示内容の充実
- 収蔵品管理施設の改修

めざす値

島田市博物館入場者数（分館含む）



※平成28年度は企画展「島田の刀鍛冶と天下三名槍」の入場者（23,389人）を含む数値。（参考：平成27年度博物館入場者数 42,810人）

この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「歴史・文化資源が豊かである」と感じる市民の割合	H28(2016)	H33(2021)
	31.8% 34.3%	41.8% 42.2%

政策分野5 歴史・文化・地域



▲東光寺の猿舞（県指定無形民俗文化財）



▲島田市博物館

3. 文化・芸術に親しむ機会を充実します

文化・芸術活動への市民の参加を促すとともに、島田の文化を引き継ぐ人材の育成に力を入れていきます。

主要な取り組みの事例

- 市民参加型、協働創造型、支援型の文化事業開催
- 街角ライブやアウトリーチ事業¹の展開
- 「お茶のまち」の知名度の向上と島田市緑茶化計画の浸透
- 文化施設のあり方について一体的に検討

めざそう値

市民文化祭出品者、出演者、観客数計（年間）

H28(2016)	H33(2021)
9,100人	10,000人

4. 文化活動を支援し、文化芸術水準の向上を目指します

年齢や活動地域の違いを乗り越え、文化芸術活動に参加しやすい機会を創出するとともに、市民や団体が自ら行う文化活動を支援します。

主要な取り組みの事例

- 「(仮称)文化芸術推進計画」の策定
- 世界に向けて島田ならではの文化・芸術を発信する
独創性豊かな文化・芸術創造事業を行う団体の支援

めざそう値

市民意識調査「文化活動への支援」における市民満足度

H28(2016)	H33(2021)
32.1% 53.8%	42.1% 62.3%

用語解説

1 【アウトリーチ事業】芸術活動の一つで、芸術に接する機会がない人々に興味と関心を持たせるために芸術家や企画者側から働きかける活動

関連データ

■博物館本館・分館観覧者数

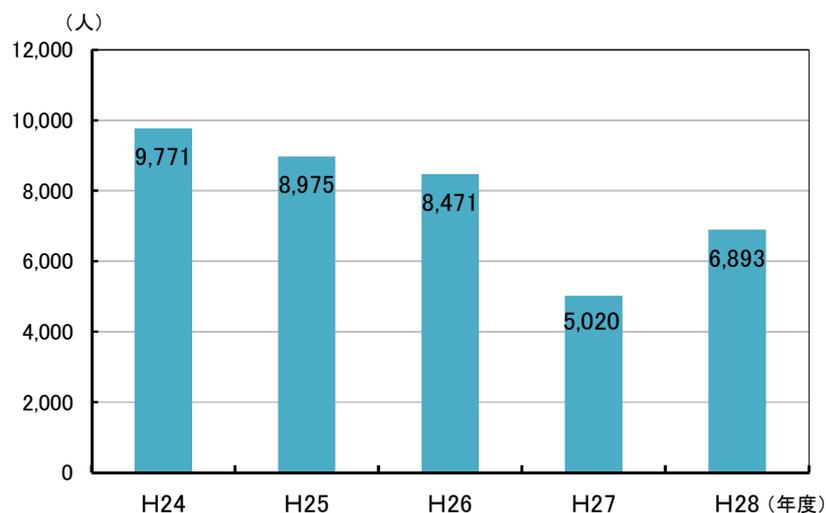
単位：人

年度	H24	H25	H26	H27	H28
博物館本館観覧者数	27,455	27,598	19,037	25,553	36,651
博物館分館観覧者数	14,928	13,981	11,496	17,257	20,744
合計	42,383	41,579	30,533	42,810	57,395

■指定文化財の状況

種別	指定数（件）	指定内容
国指定	7	島田宿大井川川越遺跡 諏訪原城跡 智満寺本道附本尊千手観音厨子 智満寺の十本スギ ほか3件
県指定	29	東海道石畳（菊川坂） 上志戸呂古窯跡 智満寺中門 島田鹿島踊り ほか25件
登録文化財	3	徳兵衛酒店店舗兼主屋 徳兵衛酒店土蔵 旧片岡醸造所酒蔵
市指定	50	愛宕塚古墳 東海道石畳（金谷坂） 河村家住宅 笹間神楽 ほか46件
合計	89	-

■市民文化祭入場者数





▲諏訪原城発掘



▲川越街道

島田を知り、好きになってもらう (情報発信・シティプロモーション)

基本的な施策の方向性

当市は、由緒ある歴史や豊かな自然に育まれた魅力ある地域資源にあふれています。近年、高速交通網の発展がもたらす活気とここに住む人々の温かさから、住みよいまちとして認知され、島田市のイメージは着実に向上しています。

こうした背景をもとに、豊かな自然とほどよい都会の調和のとれた都市ブランド¹を確立し、市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたいくなるまちを目指していきます。

魅力ある地域資源をさらにみがきをかけ、市民や企業・事業者、団体と効果的な連携を図り、戦略的なシティプロモーションを展開します。

施策と内容

1. 効果的に情報を発信し、島田に行ってみたくなるイメージを高めていきます

新聞、テレビのほかインターネットやソーシャルメディア²など、人々が情報を得る手段が多様化しています。あらゆる人に欲しい情報がしっかりと届くよう、効率的で整理された情報発信が求められています。

魅力ある地域資源をPRするため、様々なメディアを効果的に活用するとともに、市民自ら発信する情報も生かしながら、多面的・複合的な広報活動を進める必要があります。

主要な取り組みの事例

- 広報紙のほか、多様なメディアと連携した行政情報の積極的な発信
- 国内有数の合宿地としてのPR
- ふるさと寄附金制度を通じた島田の地域産業の振興

めざす値

島田市公式 SNS (Facebook, Twitter 等) のフォロワー数

H28(2016) 5,176 件 → H33(2021) 5,700 件

めざす値

島田市公式ホームページの総ページビュー数

H28(2016) 2,884,538 件 → H33(2021) 2,902,000 件

用語解説

1 【都市ブランド】「まちの個性や魅力」による都市の持つブランド力

2 【ソーシャルメディア】インターネット上で展開される情報メディアのあり方で、個人による情報発信や個人間のコミュニケーション、人の結びつきを利用した情報流通などといった社会的な要素を含んだメディアのこと

この柱のみんなだめざそう値

都市の魅力度
(地域ブランド調査)

H28(2016)
545位

H33(2021)
400位

政策分野5 歴史・文化・地域

はじめに

基本構想

基本計画

政策分野1

政策分野2

政策分野3

政策分野4

政策分野5

政策分野6

政策分野7



▲アンテナショップの出店（駿河湾沼津SA）

2. 島田市緑茶化計画をはじめとしたシティプロモーションの推進により、島田のブランド力を高めます

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や賑わい交流拠点施設がオープンする機会は、観光・商業の分野に留まらず、当市の都市ブランド力をあげる新たなチャンスです。

ブランドメッセージ³等を効果的に活用し、国内外に向けた様々なプロモーションを戦略的に展開します。

主要な取り組みの事例

- 国内外に向けた様々なプロモーション戦略の展開
- 「日本一のお茶のまち 島田」を多くの人に伝える機会の創出
- 「島田市緑茶化計画」の認知度向上

めざす
値

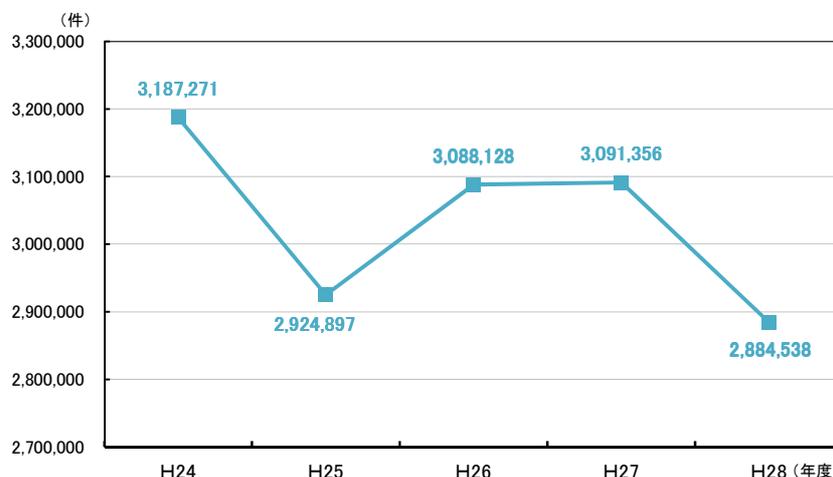
島田市の認知度（地域ブランド調査）

H28(2016)
578位

H33(2021)
400位

関連データ

■島田市ホームページ総ページビュー数（年間件数）



用語解説

3【ブランドメッセージ】市の魅力や地域の独自性や優位性などをわかり易く表現し、これからのまちづくりの方向性を示すものであり、シティプロモーション活動の「要」となるもの

人との連携・交流が生まれる地域をつくる (移住・国際交流・多世代交流)

基本的な施策の方向性

当市の自然・歴史・文化、地域資源から湧き上がる都市イメージは広く浸透されつつあり、ブランド化を推進する取り組みが功を奏しています。

今後、島田の良さ、魅力に触れることのできる機会を生み出し、当市に興味を持ち、行ってみたいと感じる人、住んでみたいと思う人が増えるよう、積極的にPRしていく必要があります。

さらに、これまで良好な関係を築き上げてきた海外都市とお互いの強みや特性を活かした交流を推進し、魅力と知名度を高めながら世界の中での当市の存在感を増していきます。

施策と内容

1. 移住支援を促進します

当市の中山間地域、特に川根地域は過疎化が進み、人口減少が顕著となっています。今後も持続可能な社会を構築していくため、当市の自然の豊かさや心の温かさをアピールしながら、川根地域をはじめ市内全域への移住を支援していく必要があります。首都圏等からの移住希望者に対して、子どもを健やかに育てられる環境や就労情報等をPRすることで移住の地として選ばれ、ここでの定住につながる施策を展開します。

主要な取り組みの事例

- 「地域おこし協力隊」の積極的な受け入れ
- 首都圏等における移住相談会や体験ツアーの開催
- 空き家バンク事業¹や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策の展開

めざまし値

移住相談件数 (年間)

H28(2016)	H33(2021)
104 件	156 件

2. 国内・国際交流を推進します

国外へつながる時間や距離が縮まっています。世界における当市の存在感を高めるため、これまで良好な関係を築き上げてきた国内・海外都市との間で、お互いの強みや特性を活かした交流を推進し、都市の魅力を高めていきます。

主要な取り組みの事例

- 国内姉妹都市である氷見市との多分野にわたる交流
- 海外姉妹都市・友好都市等との交流事業
- 市民が主体となって進める海外交流活動の側面支援

めざまし値

市民意識調査「国際交流や都市間交流の推進」における市民満足度

H28(2016)	H33(2021)
27.2%	30.0%
49.3%	52.4%

用語解説

1 【空き家バンク事業】 空き家情報をインターネット等で移住・定住希望者に情報提供する事業



政策分野5 歴史・文化・地域



▲移住定住ポータルサイト「住んでごしまだ」

3. 幅広い世代が交流し、このまちへの愛着が湧く意識を醸成します

市民がこのまちに愛着と誇りを持ちながら、住み慣れた場所でいつまでも住み続けたいという願いをかなえていきます。そのためにも、子どもから高齢者までの幅広い世代が活発に交流するまちを目指します。

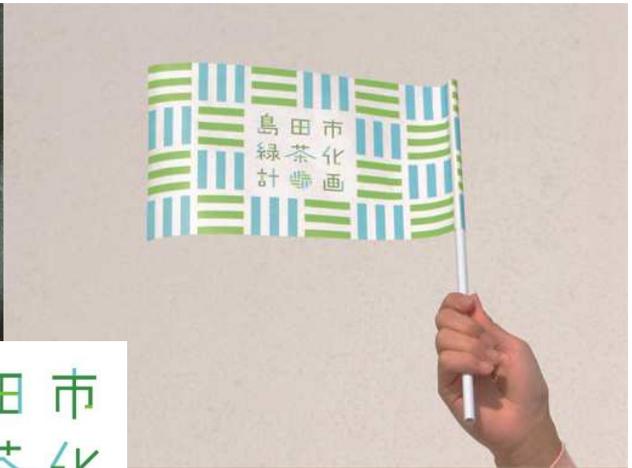
- 主要な取り組みの事例**
- 子どもを中心に幅広い世代が交流するイベントの開催や地域で子どもを見守る活動の支援
 - 子どもから高齢者まで一緒に過ごすことができる、居場所づくりに関する調査・研究



関連データ

■島田市が締結している姉妹都市・友好都市の一覧

種別	種別	都市名	都市提携締結日
国外	姉妹都市	リッチモンド市(アメリカ)	昭和36年12月12日
	友好都市	湖州市(中国)	昭和62年5月30日
	姉妹都市	ブリエンツ町(スイス)	平成18年8月9日
国内	姉妹都市	氷見市	昭和62年4月15日



島田市
緑茶化
計委画

